



第 1 回 DBJ 地域共創ボンド資金使途報告書(発行日 2026 年 8 月 21 日)

DBJ は、2026 年 8 月 21 日付で第 1 回 DBJ 地域共創ボンドを発行しました。

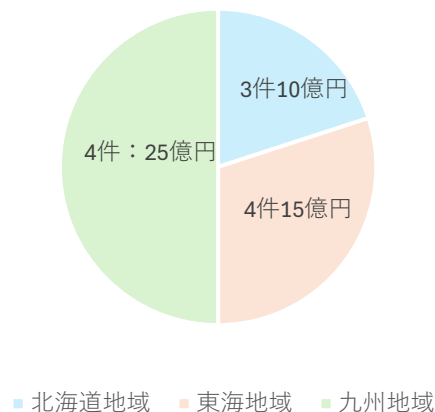
■第 1 回 DBJ 地域共創ボンド資金使途報告(概観)

- DBJ 地域共創ボンドにおいては、地域(DBJ の各支店及び関東甲信企画室がそれぞれ所管する地域ブロック単位。以下同様。)の投資家から調達した資金を、当該投資家の所在する地域の GRIT 案件※に充当します。

※持続可能な社会の実現に向けた DBJ の投融資戦略である「GRIT 戦略」に基づく投融資案件のこと

- 第 1 回地域共創ボンドの調達資金は、当行の北海道支店、東海支店及び九州支店の所管地域における 11 件の GRIT 案件に充当を完了しております(2026 年 8 月 21 日時点)。地域別のアロケーションについては下記パイチャートをご確認ください。

適格プロジェクト毎の発行代わり金アロケーション



■第 1 回 DBJ 地域共創ボンド資金使途報告(事例)

- 第 1 回地域共創ボンドに充当した GRIT 案件についての事例は下記の通りです。

【北海道地域】

取引先	中道リース株式会社(以下、「当社」)
本社所在地	北海道札幌市
融資契約締結	2025 年
融資通貨	円
案件概要	・ 本件は、当社に対し、「DBJ 環境格付」に基づく融資を実行したもの

	です。 ・「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム (格付システム)により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。 ・当社は、道内外においてリース、割賦、スペースシステム(不動産賃貸)等の事業を展開する総合リース事業者であり、「わが社は事業を通じ、社会の発展に貢献する。」という経営理念のもと、リース事業を幹とした金融サービスを通じ、適切な品質提供と環境保全に取り組んでいます。 ・本件の格付では当行は以下の点を高く評価し、その結果当社は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を取得しました。 (1) 環境事業営業部に新たにサステナビリティ担当部長を配属する等、内部管理・ISO 推進室を中心とした環境側面に対するリスク低減にとどまらず、事業を通じた企業価値向上を目指し、社内管理・対外展開の双方に向けた活動を目指した体制強化を行っている点 (2) 生物多様性行動指針に基づいた取り組みを展開する中で、北海道内の地域企業や自治体との連携を深めるとともに、地域マイクログリッド構築支援事業や自治体における環境配慮の見える化支援等、地域の長期的なニーズを踏まえ、事業を通じて地域の価値向上に寄与している点
URL	https://www.dbj.jp/news/20251226_206294.html

【東海地域】

取引先	鈴与株式会社(以下、「当社」)
本社所在地	静岡県静岡市
融資契約締結	2025 年
融資通貨	円
案件概要	・本件は、当社に対し、「DBJBCM 格付」に基づく融資を実行したものです。 ・「DBJ BCM 格付」は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災及び事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

	・ 鈴与グループの中核企業である当社は、港湾・国内外物流等を担う総合物流企業として、「共生(ともいき)」の企業理念のもと、大規模災害発生時など有事の際の緊急支援物資の荷役・輸送体制の構築など、地域社会とともに、多面的な事業継続への取り組みを実施しております。 ・ 本件の格付では当行は以下の点を高く評価し、その結果当社は6回連続で「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を取得しました。 (1) トップマネジメントによる強い推進力の下、「鈴与グループ危機管理委員会」を中心としたグループ全体での危機管理体制を構築するとともに、拠点評価などの新たな取り組みを通じて各拠点の防災/BCM 対策を推進するほか、通信訓練を軸としたグループ総合訓練等により防災力の向上を図るなど、グループ一体となって危機管理体制を強化している点 (2) 「鈴与グループ事業継続計画基本計画」に基づき、全拠点においてリスク抽出やボトルネック分析を精緻に実施した上で、物的経営資源の確保及び情報セキュリティ対策の強化などを講じていることに加え、全拠点でのリスクの見直しによりリスクマネジメントの強化を図ることで、事業継続戦略の高度化に注力している点 (3) 経営の拠り所である「共生(ともいき)」の精神を研修などにより従業員一人ひとりに企業風土として深く浸透させることで、「清水港みなと機能継続計画」の策定に対する主体的な関与及び近隣企業などとの合同訓練の実施等を通じて、地域全体のレジリエンス向上に貢献している点
URL	https://www.dbj.jp/news/20250829_206151.html



提供先：鈴与株式会社

【九州地域】

取引先	西日本鉄道株式会社(以下、「当社」)
本社所在地	福岡県福岡市
融資契約締結	2025 年
融資通貨	円
案件概要	・ 本件は、当社に対し、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本ローン」)を実行したものです。 ・ 本ローンは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、DBJが対話を通じて西日本鉄道のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」という。)とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」という。)の設定をサポートするとともに、西日本鉄道の SPT に対するパフォーマンスと貸付条件とを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境課題及び社会課題の解決を通じた持続可能な社会の実現と持続的な企業成長の両立を促進・支援することを目指すものです。 DBJ は、西日本鉄道の SPT 達成に向けた主要な取り組みを「対話

	テーマ」として設定し、貸付期間中の定期的な対話を行うことにより、SPT の達成に向けた伴走を行います。 ・ 当社では、長期ビジョン「にしていグループまち夢ビジョン 2035『濃やかに、共に、創り支える』」を策定し、「居心地よい幸福感あふれる社会」の実現に向けた価値提供へ取り組むとともに、重要課題である脱炭素社会実現に関しては、EV バス導入や再生可能エネルギー活用等の施策を掲げたロードマップ「カーボンニュートラル(2050)を目指して」をグループ一体で推進しております。 ・ 本ローンでは、ロードマップにて目指す 2050 年度カーボンニュートラル実現及び 2030 年度の CO₂排出量削減目標に向けた取り組みを支援すべく、西鉄グループ全社の CO₂ 排出量について、以下の KPI・SPT を設定しました。 ・・・KPI: 西鉄グループ全社の国内事業所における CO₂ 排出量 (Scope1・2) ・・・SPT: KPI につき 2030 年度に 2013 年度対比 46%以上削減すること
URL	https://www.dbj.jp/news/20250227_205134.html
 提供先：西日本鉄道株式会社	

(2026 年 8 月 21 日現在)